

副甲状腺部分摘出術を受けられる患者様へ（原発性）

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____

	/	/	/	/	/	/	/	
	入院日	2 日目 (手術当日)	3 日目 (術後 1 日)	4 日目 (術後 2 日)	5 日目 (術後 3 日)	6 日目 (術後 4 日)	7 日目 (術後 5 日)	
目標 毎日看護師と 評価します	□治療の内容がわかる（必要性が理解できる）							
	□入院生活、手術についてわかる □体温が正常である（38℃以下）	□創部に問題がない（創部の著明な腫脹がみられない）				□ドレーンが抜ける	□創の抜糸ができる	
		□必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減できる						
		□ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いができる				□退院後の生活の注意点についてわかる		
		□安静が守られている				□ドレーンからの排液が増量しない		
		□テタニー症状（しびれ）がなく過ごすことができる						
内服 注射	抗生剤の点滴（1 日 2 回） 術日は補液（5 時間程度）を実施します。 翌日以降は食事摂取状況に合わせて行うこともあります		 退院基準： □テタニー症状（しびれ）がない □創部の感染や離開がない □退院後の注意点がわかる					
検査			• 朝に採血します • 回診時に内視鏡で喉の診察をします		朝に採血します			
	※必要時採血をさせていただくことがあります							
治療 処置	• 主治医から手術について説明があります • 麻酔科医、手術室看護師がお部屋に伺います。時間未定のため、できるだけお部屋にいて下さい		検温（1 日 3 回） 			検温（1 日 1 回） 		
			• 毎朝 6 時にドレーン排液の測定を行います（排液の量が減るとドレーンが抜けます。） • 9 時頃（休日は 9 時半）から病棟内の耳鼻科処置室で診察があります • 創部は透明なフィルムで保護しており、抜糸までそのままです				抜糸 	
食事 飲水	絶飲食の時間をお伝えします	手術後は医師の許可が出たら、飲食ができるようになります。食事はお粥が出ます	術後 2 日目より米飯に戻りますが、お粥希望の方はお知らせ下さい					
清潔	浴室使用の時間については看護師からお伝えします	手術日から術後 1 日目までは、タオルで体を拭くことになります。ドレーンが抜けないように看護師がお手伝いします	• 看護師介助で洗髪できます • 下半身シャワーに入ることができます		ドレーンが抜けたら全身シャワー浴ができます			
安静 活動	院内自由	• 手術後、ベッドの頭側は少しあげておいた方が、呼吸が楽にできます • トイレ・洗面以外はお部屋で安静に過ごしましょう	術後 1 日目より院内自由 					
説明 指導			• 手術日にはバスタオルを 1 枚ベッドに用意してください					
	• 術後の注意点について看護師から説明します		《術後》 • 痛い、吐き気がする、息が苦しいなどの症状があれば、ナースコールでお知らせ下さい • ドレーンが入っている間は、動く時、チューブが突っ張ったり、折れ曲がったりしないように注意して行動しましょう。チューブの先には血液を貯める容器が付き巾着に入れ首からぶら下げ、パジャマにピンで止めます • テタニー症状がありましたら、すぐにナースコールでお知らせ下さい。必要時採血・点滴をさせていただきます				《退院後の生活について》 • 入浴時に傷あとを洗浄し毎日テープを交換してください • 「傷のお手入れについて」のパンフレットを参照してください • 薬が処方された方は飲み忘れのないよう医師の指示通りに服用してください	

注）現時点で考えられる予定であり変更になることがあります